

つねに社会にとって
必要な事業を
創造しつづける

第11期

ENVIPRO REPORT 2020

2019年7月1日 ▶ 2020年6月30日

ミッションステートメント

持続可能社会実現の一翼を担う

Contribute to create a sustainable society

資源とエネルギーを持続的に利用・循環させる技術と循環システムの構築で、
社会インフラの根幹を支え、社会の持続可能性を高めていくことに貢献していく



/// トップメッセージ

新型コロナウイルス感染症拡大により私達は仕事のやり方を根本から見直し、会社を大きく変容させる必要性に気づきました。そして何より当社の存在意義を再確認するきっかけになりました。

おかげ様で私は改めて「持続可能社会実現の一翼を担う」ために当社が何をやるべきかの具体的な戦略に思いを致すことができました。

それは廃棄物由来の原料を加工して新たな原材料を製造し、それをまた元の製造業に戻すクローズドループ「サーキュラーエコノミー」を実現することです。そのために「資源循環×デジタル」で、プラットフォームとしての役割を確立して効率的な静脈物流(回収)の仕組みを作り、回収した廃棄物に対して従来の物理的選別技術に加え化学系の技術を駆使したリサイクル技術のイノベーションを起こして「100%リサイクル」の体制を確立していきます。

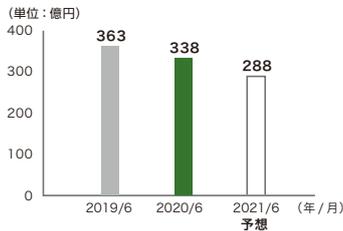
これらの事は一朝一夕には実現できませんが、立ち足かかる壁にたじろぐ事なく社員一同果敢にチャレンジして当社の社会的役割をしっかりと果たしていきます。

愚かしき誠実 燃える情熱 へこたれぬ忍耐 (平澤興先生の言葉)
前へ、前へ。

資源循環の社会システムを根幹で支える

エンビプロ・ホールディングス概要

売上高

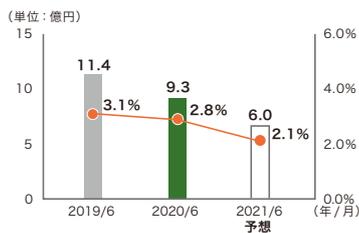


実績 (2020/6)
338 億円

2020年6月期 実績

第3四半期までは概ね業績予想どおり推移するも、新型コロナウイルスの影響で第4四半期会計期間経常損失は0.9億円となり、通期実績は減収減益。

経常利益・率

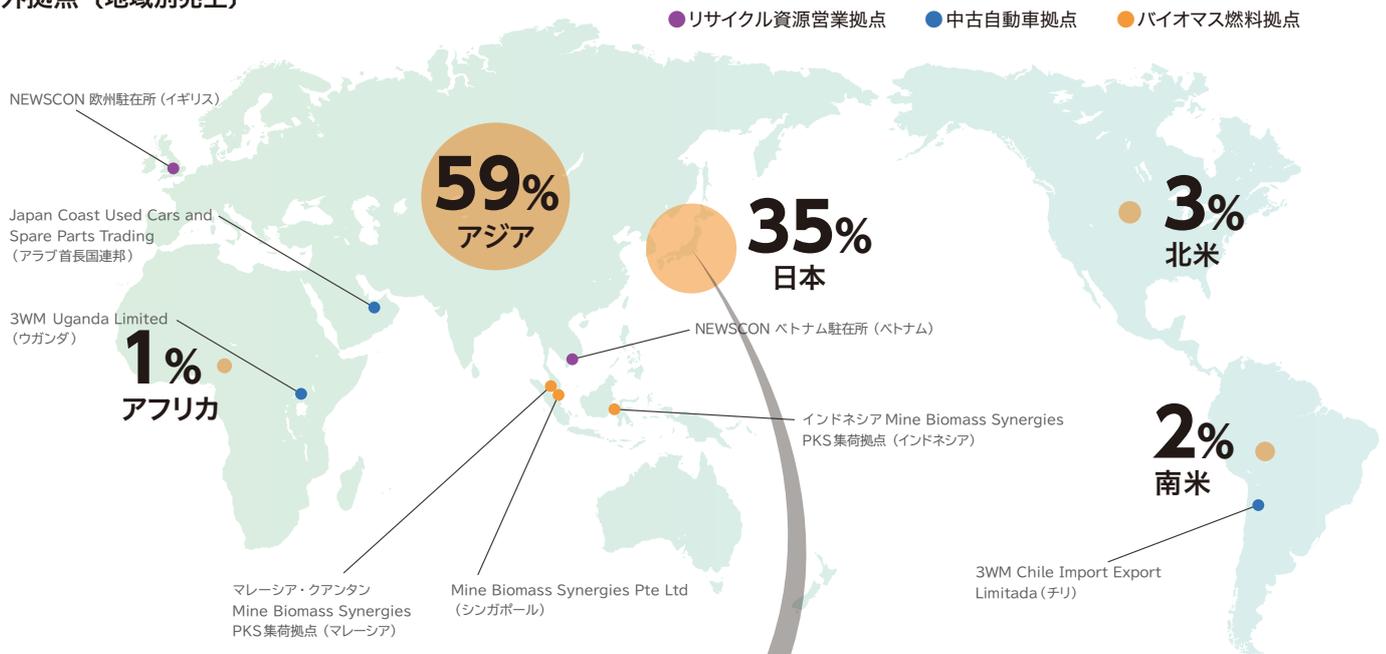


実績 (2020/6)
9.3 億円

2021年6月期 予想

上期は新型コロナウイルスにより経済活動が低迷し取扱量は8割程度、下期は徐々に回復することを想定。

海外拠点 (地域別売上)



国内拠点

- 事業所
- 鉄スクラップヤード
- 非鉄スクラップヤード
- 中古自動車ヤード



連結子会社 (海外含む)

12 社

国内ヤード拠点

12 カ所

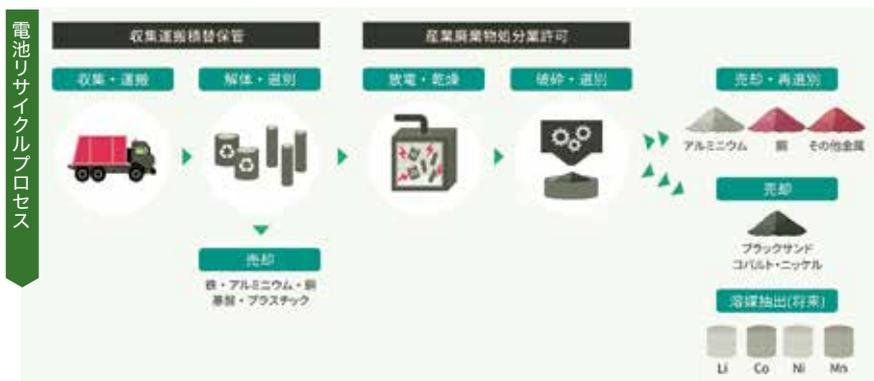
国内加工拠点

10 カ所

成長戦略

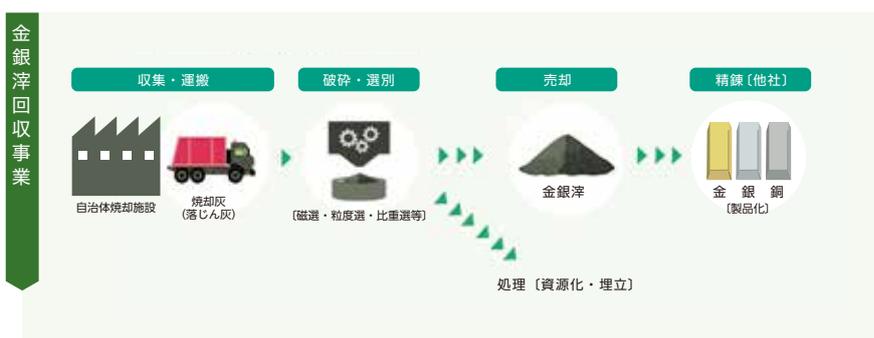
■ リチウムイオン二次電池のリサイクルプロセスの確立に向けて

急拡大するリチウムイオン二次電池 (LIB) 市場に対し、グループの経営資源を集約的に投入して、使用済みLIB等からのレアメタル(ニッケル・コバルト等)回収事業に本格的に参入する。2020年2月に稼働を開始した施設(富士宮市)においてLIBリサイクルプロセスを早期に確立するとともに、セカンドフェーズに向けた湿式製錬・前駆体製造プロセスの研究・検証を進め、LIBリサイクルのクローズドループ実現を目指す。



■ 焼却灰による金銀滓回収事業の拡大に向けて

都市ごみ焼却後の灰の中には有用金属が含まれているが、現状ではそのほとんどが回収されずに埋立処分されている。有用金属の含有量の低さと選別費の高さが主な原因であり、選別効率を上げて事業性が確立されることで、焼却灰が新たな鉱脈となる。事業会社で焼却灰から貴金属(金、銀、銅等)を高品位で回収する技術を確認し、特許を取得。事業拡大に向け焼却炉メーカー等と連携し、2025年には全国の30%の自治体焼却施設との契約を目指す。



企業理念

創業企業

つねに社会にとって必要な事業を創造しつづける

日々創業…初心を大切に日々創業精神で仕事をする
 歴代創業…代々初代の志を持って新事業を創造する
 全員創業…全社員が自分に合う第一人者の道を拓く

循環企業

助け合い、活かし合い、分かち合う喜びの環を回しつづける

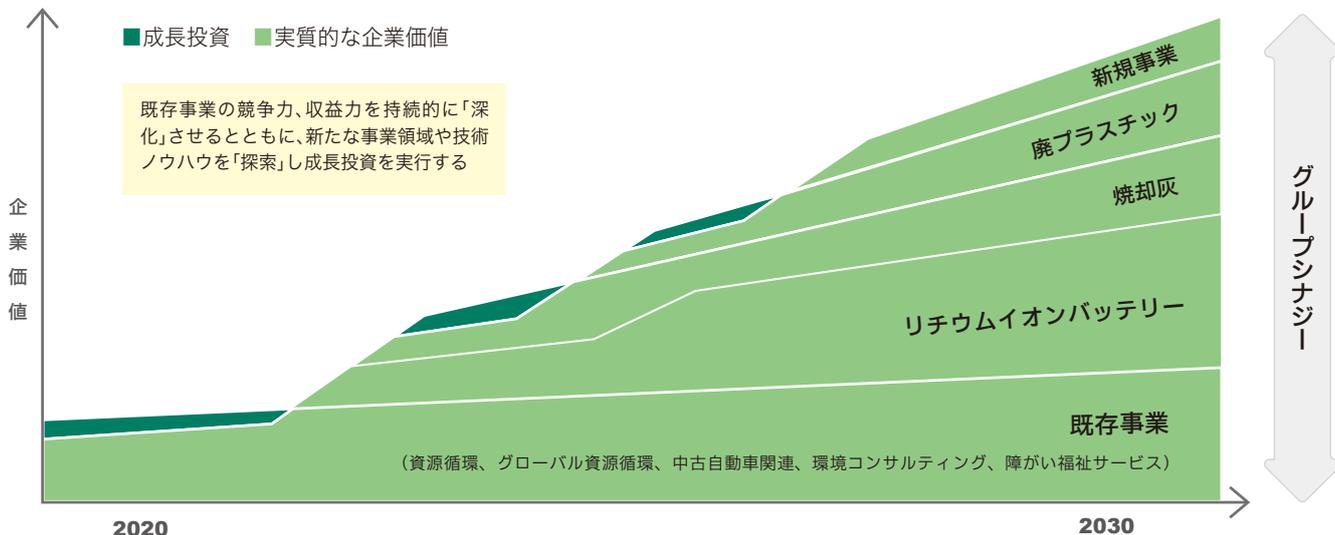
快労…助け合い、補い合って気持ちよく働く
 活財…あらゆるもののいのちを活かして使い回す
 還元…利益や喜びを共に生きる人たちと分かち合う

求道企業

永遠につづく企業の道、人の道を追求しつづける

選難の道…安易な道を選ばず求められる道歩む
 独自の道…特質を生かし人のやらないことをやる
 感謝の道…生かされていることに感謝し慢心をしない

事業拡大による企業価値の向上



事業特性とSDGsの目標達成に向けた様々な取り組み



エンビプロ・ホールディングスでは、その事業特性と「持続可能社会実現の一翼を担う」というミッションステートメントに整合するSDGsの目標を洗い出し、それらを中心とするSDGsの目標達成に向けて様々な活動に取り組んでいます。

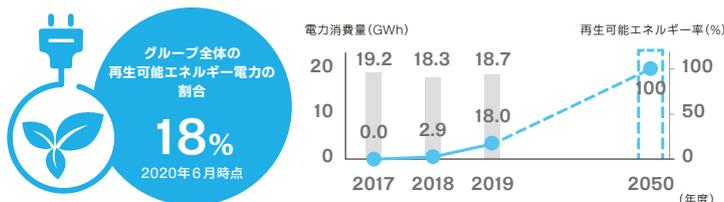
取り組みの具体例

目標9 目標12 技術革新・消費と生産

金属スクラップや廃棄物から貴金属などを取り出すリサイクル事業や、再生原料を製造するリマニュファクチャリング事業を推進することで、限られた資源の循環と廃棄物の削減に貢献しています。これまで培ってきた技術とノウハウをさらに発展させ、持続可能な消費と生産のパターンの確立を目指しています。

目標13 気候変動

当グループでは2050年までに事業活動で消費する電力を100%再生可能エネルギーにすることを目標に掲げ、2018年7月にリサイクル業界では世界初となる「RE100」に加盟しました。



Corporate Data 2020年9月29日現在

会社概要

商号 株式会社エンビプロ・ホールディングス
 英文名 ENVIPO HOLDINGS Inc.
 設立 2010年(平成22年)5月
 資本金 15億2,483万656円
 従業員数 連結443名(単体37名)
 本店 静岡県富士宮市山宮3507番地の19
 本社所在地 〒418-0075
 静岡県富士宮市田中町87番地の1
 電話 0544-21-3160(代表)

役員

代表取締役社長 佐野 富和
 専務取締役 佐野 文勝
 常務取締役 春山 孝造
 常務取締役 嶋津 雅彦
 取締役 竹川 直希
 取締役 村上 美晴
 取締役 黄 圭燦
 取締役 宮木 啓治
 取締役(監査等委員) 井手 祥司
 取締役(監査等委員) 小室 直義
 取締役(監査等委員) 和田 卓

監査法人

会計監査人 東陽監査法人

株主優待制度のご案内

当社は、毎年6月30日を基準日として、当社株主名簿に記載または記録された200株(2単元)以上かつ、1年以上保有されている株主様に当社オリジナルのQUOカード2,000円分を進呈しております。

株式の状況

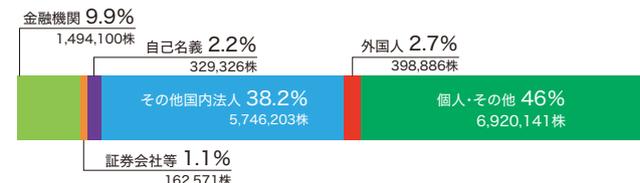
発行可能株式総数 33,600,000株
 発行済み株式総数 15,051,227株
 (自己株式329,326株含む)
 株主総数 9,195名

大株主

株主名	所持数(株)	持株比率(%)
株式会社ウィンデライト	5,102,000	34.66
佐野 文勝	1,404,244	9.54
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	511,800	3.48
佐野 富和	393,376	2.67
株式会社ユー・エス・エス	360,000	2.45
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG(FE-AC)	239,000	1.62
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口2)	197,400	1.34
石井 明子	196,635	1.34
石井 裕高	196,471	1.33
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	152,100	1.03

(注) 当社は自己株式 329,326株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



当社WEBサイトのご案内

最新のIR情報や詳しい情報は当社のWEBサイトにて紹介しております。ぜひご覧ください。

<https://www.envipro.jp/ir/>

エンビプロ 検索

